

○広島修道大学経済科学部履修細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、広島修道大学学則（以下「学則」という。）に基づき、経済科学部学生の履修及び単位の認定に必要な事項を定める。

2 本細則に定めるもののほか、必要な事項については、経済科学部教授会の議を経てこれを定める。

(単位算定基準)

第2条 各授業科目の単位算定基準は、15時間の授業をもって1単位、30時間の授業をもって2単位、60時間の授業をもって4単位とする。ただし、別表において1単位と定められている科目のうち、実験、実習及び実技で行われる授業は30時間をもって1単位とする。

(科目区分、科目分類及び卒業所要単位数)

第3条 経済科学部の科目区分は、全学共通科目、主専攻科目及び自由選択科目とし、卒業には、次の表の各科目分類ごとの修得単位数を満たし、合計124単位以上修得しなければならない。

[現代経済学科]

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数
全学共通科目	地域理解科目	1単位以上	24単位以上	124単位以上
	国際理解科目	8単位以上		
	一般教養科目	4単位以上		
	スポーツ・健康科目			
	キャリアデザイン科目	1単位以上		
	データサイエンス科目			
主専攻科目	A群	10単位以上	78単位以上	
	B群	14単位以上		
	C群	14単位以上		
	D群	4単位以上		
	E群			

	F群		
	G群		
	H群		
	I群		
自由選択科目			

[経済情報学科]

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数
全学共通科目	地域理解科目	1単位以上	24単位以上	124単位以上
	国際理解科目	8単位以上		
	一般教養科目	4単位以上		
	スポーツ・健康科目			
	キャリアデザイン 科目	1単位以上		
	データサイエンス 科目			
主専攻科目	A群	10単位以上	78単位以上	
	B群	14単位以上		
	C群	14単位以上		
	D群	4単位以上		
	E群			
	F群	6単位以上		
	G群			
	H群			
	I群			
自由選択科目				

(配当年次、単位修得)

第4条 学則第10条第1項別表2の授業科目のうち、経済科学部の授業科目の配当年次、単位修得についての詳細は、別表の授業科目配当表に定める。

第2章 履修科目の登録、履修方法及び制限

(履修科目の登録)

第5条 学生は、指定登録日に所定の履修手続きにより、授業科目の中から履修科目を登録しなければならない。

2 履修科目の選択は、別表の授業科目配当表に従い行わなければならない。

3 既に単位を修得した授業科目については、履修登録することができない。ただし、副題の異なる同一授業科目の履修についてはその限りではない。

4 前項の規定にかかわらず、既に単位を修得した授業科目の成績を上書きすることを目的として履修すること（以下「取消再履修」という。）は妨げない。ただし、取消再履修が承認された科目については、既に単位を修得した同一科目の成績及び単位数を無効とする。取消再履修できる授業科目及び手続は別に定める。

5 主専攻科目のゼミナールについては、担当教員の承認を受けて登録しなければならない。
(授業科目の履修)

第6条 授業科目の履修は特別な場合を除き、授業科目配当表に定められた年次で履修しなければならない。ただし、再度履修する場合は、その限りではない。

(他学部、他学科授業科目の履修)

第7条 他学部、他学科に属する授業科目を履修することができるものは2年次以上とする。

2 他学部、他学科の授業科目のうち履修不可科目は別に定める。修得した他学部、他学科の授業科目の単位は両学科とも自由選択科目として卒業所要単位に算入することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、所属学科に開設されている授業科目及び別に定める授業科目については他学部、他学科の授業科目として履修することができない。

(履修単位数の制限)

第8条 学生が1年間に履修し得る単位数は、他学部、他学科の授業科目も含めて各年次とも44単位を超えることができない。

2 学生が前期又は後期に履修し得る単位数は、24単位を超えることができない。ただし、4年次に限り28単位まで履修することができる。なお、通年科目の単位数は、前後期に按分して履修単位数に含めるものとする。

3 広島修道大学学生交流規程第4条第3項に基づき、他大学の科目を履修する場合は、各年次とも年間上限単位数に他大学で履修する単位数を加えることができる。ただし、年間上限単位数に加えることができる単位数の上限は2単位とする。なお、教育ネットワーク中国の単位互換包括協定に基づき履修できる単位数は、2年次生は年間2単位、3年次生は年間4単位、4年次生は年間8単位を上限とする。

4 学則第10条第1項別表2（その9）の授業科目の単位数は、第1項及び第2項に定める履修単位数に含まないものとする。

5 編入学生及び学士入学生についての履修単位数の制限は、単位換算決定後にこれを定める。

（主専攻科目の履修制限）

第9条 両学科にそれぞれ履修指導科目を設ける。履修登録にあたっては、履修指導科目等の指針に従って履修を行うことが望ましい。

（修道スペシャルプログラム）

第10条 修道スペシャルプログラムのうち、データサイエンスプログラム及びワールド・ステージ・プログラム以外は、2年次以上で直近1年間の年度GPA値が2.0以上の成績を収めた者が履修することができる。

2 修道スペシャルプログラムの実施及び修了に関して必要な事項は別に定める。

第11条 削除

第12条 削除

第13条 削除

第3章 単位認定及び成績評価

（単位認定及び成績評価）

第14条 各授業科目に対する単位の認定は、学則第17条の規定による。

2 成績評価は、広島修道大学及び広島修道大学大学院における成績評価に関する規程第2条から第4条までの規定による。

第4章 その他

（事務担当）

第15条 この細則に関する事務は、教学センターが担当する。

（細則の改廃）

第16条 この細則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1 この細則は、1997年4月1日から施行する。

2 この細則は、2002年2月7日に第2条の別表、第3条の別表、第4条第1項、同条第2項の別表、第6条及び第8条から第11条を改正し、新たに第11条の2を追加し、2002年4月1日から施行する。ただし、2001年度以前に入学した者については、第4条第1項及び第6条を除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 この細則は、2006年11月2日に全面改正し、2007年4月1日から施行する。ただし、2006年度以前に入学した者については、第5条第1項を除き改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとし、改正前の第4条別表に加えて、改正後の第4条別表2の授業科目についても履修できるものとする。
- 4 この細則は、2010年9月9日に第3条、第8条第1項、同条第2項を改正し、第9条、第10条、第11条第2項、同条第3項を削り、以下条文を繰り上げて、2011年4月1日から施行する。ただし、2010年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 5 この細則は、規程等整理の方針に基づき、2011年8月4日に改正し、同日から施行する。
- 6 この細則は、2011年8月4日に第4条第1項を改正し、新たに第4条第3項及び同条別表3を追加し、2012年4月1日から施行する。
- 7 この細則は、2013年3月7日に第13条を改正し、第14条、第15条、第16条、第17条及び第18条を削り、以下条数を繰り上げて2013年4月1日から施行する。
- 8 この細則は、2014年1月9日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1、第10条及び第11条を改正し、第12条、第13条を追加し、以下条数を繰り下げて2014年4月1日から施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 9 この細則は2015年8月6日に第4条第1項別表1を改正し、2016年4月1日より施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 10 この細則は、2015年9月3日に第16条を改正し、2015年10月1日から施行する。
- 11 この細則は2015年10月8日に第4条第1項別表1を改正し、2016年4月1日より施行する。
- 12 この細則は、2015年1月7日に第2条を改正し、2016年4月1日から施行する。
- 13 この細則は2016年11月10日に第3条第1項、同条の別表、第4条第1項別表1及び第5条第2項別表1を改正し2017年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 14 この細則は2017年2月9日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1を改正し2017年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、「長期インターンシップA」、「長期インターンシップB」及び「長期

インターンシップ事前・事後指導」を遡及適用するほかは、なお従前の例によるものとする。

- 15 この細則は2017年12月6日に第4条第1項別表1及び第5条第2項別表1を改正し2018年4月1日から施行する。ただし、2017年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 16 この細則は、2018年8月1日に第13条を削り、以下条数を繰り上げ、2018年4月1日に遡って施行する。ただし、2017年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 17 この細則は2018年11月7日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1を改正し2019年4月1日から施行する。ただし、2018年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 18 この細則は2018年12月5日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1を改正し2019年4月1日から施行する。ただし、2018年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 19 この細則は、2019年3月1日に第8条第3項を改正し、2019年4月1日から施行する。ただし、2018年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 20 この細則は、2020年2月7日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1を改正し2020年4月1日から施行する。ただし、2019年度以前に入学した者については、「広島の実業承継を学ぶ」を遡及適用するほかは、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 21 この細則は、2020年8月5日に第3条を改正し、2019年4月1日に遡って施行する。ただし、2018年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 22 第8条第2項に定める前期又は後期に履修し得る単位数は、通年科目を除いて、2020年度後期においては26単位とする。ただし、4年次に限り30単位とする。
- 23 この細則は、2021年3月1日に第12条を削除し、2021年4月1日から施行する。ただし、2020年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 24 この細則は、2021年6月2日に第8条第2項を改正し、2022年4月1日から施行する。
- 25 この細則は2021年11月10日に第3条の表、第4条第1項別表1を改正し、2022年4月

1日より施行する。ただし、2021年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

26 この細則の附則を2022年3月14日に改正し、附則24に定める第8条第2項改正の施行日を、2023年4月1日に変更する。

27 この細則は、2023年1月4日に第3条、第4条、第5条、第7条、第8条及び第10条を改正し、第11条及び第13条を削除し、2024年4月1日から施行する。ただし、2023年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

28 この細則の附則を2023年3月1日に改正し、附則26に定める第8条第2項改正の施行日を、2024年4月1日に変更する。

29 この細則は、2024年3月6日に第2条別表、第4条別表、第5条及び第2項別表及び第4項、第8条、第10条、第14条（見出しを含む）並びに第3章の章名を改正し、2024年4月1日より施行する。ただし、2023年度以前に入学した者については、第5条第4項、第8条第2項、第14条を除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表（第3条及び第4条及び第5条第2項関係）

経済科学部授業科目配当表

(1) 経済科学部授業科目（二学科共通）

科目 区分	科目分 類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得
			必 修	選 択		
全学 共通 科目	地域理 解科目	広島修道大学と広島		1	1・2・3・4	(1)、(2)
		広島と平和		1	1・2・3・4	
		広島の防災と法務		2	2・3・4	
	国際理 解科目	日本語Ⅰ		1	1・2・3・4	(3)、
		日本語Ⅱ		1	1・2・3・4	(4)、
		日本語Ⅲ		1	1・2・3・4	(5)、
		日本語Ⅳ		1	1・2・3・4	(6)、
		日本語Ⅴ		1	1・2・3・4	(7)、
		日本語Ⅵ		1	1・2・3・4	(8)、
		日本語Ⅶ		1	1・2・3・4	(9)、(10)、(11)
		日本語Ⅷ		1	1・2・3・4	

アカデミック日本語	2	1・2・3・4
ビジネス日本語	2	1・2・3・4
漢字入門Ⅰ	1	1・2・3・4
漢字入門Ⅱ	1	1・2・3・4
留学生アカデミックスキル	2	1・2・3・4
留学生キャリア形成	2	1・2・3・4
留学スタートアップ	1	1・2・3・4
留学フォローアップ	1	1・2・3・4
中長期スタディ・アブロード(入門)	2	1・2・3・4
中長期スタディ・アブロード(事前)	2	2・3・4
中長期スタディ・アブロード(事後)	1	2・3・4
ヨーロッパ言語圏留学入門	1	1・2・3・4
英語圏留学入門	1	1・2・3・4
アジア圏留学入門	1	1・2・3・4
外国語としての日本語	2	1・2・3・4
Multicultural Project	2	1・2・3・4
多文化交流プロジェクト	2	1・2・3・4
言語と文化	2	1・2・3・4
留学英語入門	2	1・2・3・4
言語文化特殊講義Ⅰ	2	2・3・4
言語文化特殊講義Ⅱ	2	2・3・4
JAPAN トピックス	1	1・2・3・4
ことばと社会	2	1・2・3・4
英語Ⅰ（リーディング・ライティング）	1	1・2・3・4
英語Ⅱ（リーディング・ライティング）	1	1・2・3・4

英語Ⅲ（リスニング・スピーキング）	1	1・2・3・4
英語Ⅳ（リスニング・スピーキング）	1	1・2・3・4
アクティブ・イングリッシュⅠ	1	1・2・3・4
アクティブ・イングリッシュⅡ	1	1・2・3・4
英語ライティングⅠ	2	1・2・3・4
英語ライティングⅡ	2	1・2・3・4
英語ライティングⅢ	2	1・2・3・4
英語ライティングⅣ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅰ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅱ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅲ	2	1・2・3・4
英語聴解Ⅳ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅰ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅱ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅲ	2	1・2・3・4
英語読解Ⅳ	2	1・2・3・4
アカデミック・リーディングⅠ	2	1・2・3・4
アカデミック・リーディングⅡ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーション入門Ⅰ	1	1・2・3・4
英語コミュニケーション入門Ⅱ	1	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅠ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅡ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅢ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅣ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅤ	2	1・2・3・4
英語コミュニケーションⅥ	2	1・2・3・4
英語文法入門Ⅰ	1	1・2・3・4
英語文法入門Ⅱ	1	1・2・3・4

英語語法 I	2	1・2・3・4
英語語法 II	2	1・2・3・4
英語語法 III	2	1・2・3・4
英語語法 IV	2	1・2・3・4
資格英語入門 I	1	1・2・3・4
資格英語入門 II	1	1・2・3・4
資格英語 I	2	1・2・3・4
資格英語 II	2	1・2・3・4
資格英語 III	2	1・2・3・4
資格英語 IV	2	1・2・3・4
資格英語 V	2	1・2・3・4
資格英語 VI	2	1・2・3・4
英語プレゼンテーション I	2	1・2・3・4
英語プレゼンテーション II	2	1・2・3・4
英語ディスカッション I	2	1・2・3・4
英語ディスカッション II	2	1・2・3・4
英語ディスカッション III	2	1・2・3・4
英語ディスカッション IV	2	1・2・3・4
英語ディスカッション V	2	1・2・3・4
英語ディスカッション VI	2	1・2・3・4
時事英語 I	2	1・2・3・4
時事英語 II	2	1・2・3・4
時事英語 III	2	1・2・3・4
時事英語 IV	2	1・2・3・4
時事英語 V	2	1・2・3・4
時事英語 VI	2	1・2・3・4
ビジネス英語 I	2	1・2・3・4
ビジネス英語 II	2	1・2・3・4
ビジネス英語 III	2	1・2・3・4
ビジネス英語 IV	2	1・2・3・4

ビジネス英語Ⅴ	2	1・2・3・4
ビジネス英語Ⅵ	2	1・2・3・4
ドイツ語Ⅰ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅱ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅲ	1	1・2・3・4
ドイツ語Ⅳ	1	1・2・3・4
フランス語Ⅰ	1	1・2・3・4
フランス語Ⅱ	1	1・2・3・4
フランス語Ⅲ	1	1・2・3・4
フランス語Ⅳ	1	1・2・3・4
スペイン語Ⅰ	1	1・2・3・4
スペイン語Ⅱ	1	1・2・3・4
スペイン語Ⅲ	1	1・2・3・4
スペイン語Ⅳ	1	1・2・3・4
中国語Ⅰ	1	1・2・3・4
中国語Ⅱ	1	1・2・3・4
中国語Ⅲ	1	1・2・3・4
中国語Ⅳ	1	1・2・3・4
韓国・朝鮮語Ⅰ	1	1・2・3・4
韓国・朝鮮語Ⅱ	1	1・2・3・4
韓国・朝鮮語Ⅲ	1	1・2・3・4
韓国・朝鮮語Ⅳ	1	1・2・3・4
中級外国語Ⅰ	2	2・3・4
中級外国語Ⅱ	2	2・3・4
上級外国語Ⅰ	2	2・3・4
上級外国語Ⅱ	2	2・3・4
外国語特殊講義	2	3・4
海外研修A	1	1・2・3・4
海外研修B	2	1・2・3・4
海外研修C	3	1・2・3・4

	海外研修D	4	1・2・3・4	
	海外研修E	5	1・2・3・4	
一般教 養科目	哲学	2	1・2・3・4	(12)
	倫理学	2	1・2・3・4	
	美学	2	1・2・3・4	
	芸術学	2	1・2・3・4	
	西洋文学	2	1・2・3・4	
	日本語学	2	1・2・3・4	
	心理学	2	1・2・3・4	
	文化論	2	1・2・3・4	
	文化人類学	2	1・2・3・4	
	西洋の美術	2	1・2・3・4	
	日本近世文学	2	1・2・3・4	
	西洋文化論	2	1・2・3・4	
	人間と生命の倫理学	2	1・2・3・4	
	人生の探求としての倫理学	2	1・2・3・4	
	愛の倫理的考察	2	1・2・3・4	
	現代日本語の特質	2	1・2・3・4	
	ドイツ文学	2	1・2・3・4	
	江戸時代の衣服	2	1・2・3・4	
	日本語と英語	2	1・2・3・4	
	科学史	2	1・2・3・4	
	日本文学	2	2・3・4	
	西洋の図像学	2	2・3・4	
	キリスト教倫理	2	2・3・4	
	芸術文化学	2	2・3・4	
	江戸時代の服飾	2	2・3・4	
	日本史	2	1・2・3・4	
	西洋史	2	1・2・3・4	
	地理学	2	1・2・3・4	

社会学	2	1・2・3・4
法学	2	1・2・3・4
政治学	2	1・2・3・4
経済学	2	1・2・3・4
情報社会論	2	1・2・3・4
日本近代史	2	1・2・3・4
日本近現代史	2	1・2・3・4
西洋中近世史	2	1・2・3・4
生活の中の地理学	2	1・2・3・4
社会学のものの見方と考え方	2	1・2・3・4
現代経済学	2	1・2・3・4
情報環境論	2	1・2・3・4
政党と選挙の政治学	2	1・2・3・4
歴史と社会	2	1・2・3・4
歴史人類学	2	1・2・3・4
中国の歴史と社会	2	1・2・3・4
近代日本と戦争	2	1・2・3・4
資産運用の基礎	2	1・2・3・4
地方行政と法	2	1・2・3・4
事例で学ぶ民法	2	1・2・3・4
現代社会と企業法	2	1・2・3・4
国際社会と法	2	1・2・3・4
現代社会と刑事法	2	1・2・3・4
メディア論	2	2・3・4
社会保障論	2	2・3・4
地政学	2	2・3・4
地方の現状と行方	2	2・3・4
化学	2	1・2・3・4
生物学	2	1・2・3・4
環境科学	2	1・2・3・4

	数学	2	1・2・3・4	
	応用数学	2	1・2・3・4	
	遺伝学の基礎	2	1・2・3・4	
	公衆衛生学	2	1・2・3・4	
	宇宙と物質と生命の科学	2	1・2・3・4	
	自然科学と技術入門	2	1・2・3・4	
	動物の自然史と分類	2	2・3・4	
	一般教養特殊講義	2	1・2・3・4	
スポーツ・健康科目	スポーツ・健康の栄養学	2	1・2・3・4	(13)
	健康科学論	2	1・2・3・4	
	運動科学論	2	1・2・3・4	
	健康科学演習	2	1・2・3・4	
	運動科学演習	2	1・2・3・4	
	健康スポーツ実習	1	1・2・3・4	
	運動スポーツ実習	1	1・2・3・4	
	野外運動実習Ⅰ	1	2・3・4	
	野外運動実習Ⅱ	1	2・3・4	
キャリアデザイン科目	大学生活とキャリア	1	1・2・3・4	(14)、(15)
	インターンシップ入門	1	1・2・3・4	
	キャリアビジョンとキャリア形成	2	2・3・4	
	広島の実業承継を学ぶ	2	2・3・4	
	キャリアデザイン特殊講義	2	2・3・4	
	新社会人のキャリアを学ぶ	1	4	
データサイエンス科目	データサイエンス概論	2	1・2・3・4	(16)
	情報処理入門	2	1・2・3・4	
	統計学	2	1・2・3・4	
	情報化社会と人間	2	1・2・3・4	
	情報と知能	2	1・2・3・4	
	応用統計学	2	1・2・3・4	

	情報基礎演習	2	1・2・3・4
	情報応用演習	2	1・2・3・4
	プログラミング入門	2	1・2・3・4
	データサイエンス特殊講義	2	1・2・3・4

- (1)地域理解科目は、1単位以上修得しなければならない。
- (2)広島修道大学と広島は、原則として1年次に履修するものとする。
- (3)国際理解科目は、8単位以上修得しなければならない。
- (4)日本語Ⅰ～Ⅷ、アカデミック日本語、ビジネス日本語、漢字入門Ⅰ・Ⅱ、留学生アカデミックスキル、留学生キャリア形成は、外国人留学生等のみ履修することができる。
- (5)中長期スタディ・アブロード(入門)、中長期スタディ・アブロード(事前)は、TOEIC® Listening & Reading Test(以下、「TOEIC L&R」という。)450点以上またはTOEIC Bridge® Listening & Reading Tests(以下、「TOEIC Bridge L&R」という。)76点以上のスコアを取得している学生が履修できる。また、Multicultural Projectは、TOEIC L&R 500点以上またはTOEIC Bridge L&R 81点以上のスコアもしくは実用英語技能検定2級以上を取得している学生が履修できる。
- (6)英語科目は、当該学期のレベル区分に基づき履修する。
- (7)英語コミュニケーション入門Ⅰ・Ⅱ、英語文法入門Ⅰ・Ⅱ、資格英語入門Ⅰ・Ⅱはレベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。
- (8)アカデミック・リーディングⅠ・Ⅱ、英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱは、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修できる。
- (9)英語科目のうち英語Ⅰ・Ⅱ(リーディング・ライティング)、英語Ⅲ・Ⅳ(リスニング・スピーキング)、アクティブ・イングリッシュⅠ・Ⅱ、アカデミック・リーディングⅠ・Ⅱ、英語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーション入門Ⅰ・Ⅱ、英語文法入門Ⅰ・Ⅱ及び資格英語入門Ⅰ・Ⅱを除くⅠ・Ⅱの科目はレベル2の科目とし、レベル2の学生が履修できる。Ⅲ・Ⅳの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。Ⅴ・Ⅵの科目はレベル4の科目とし、レベル4の学生が履修できる。
- (10)中級外国語Ⅰ・Ⅱ、言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ及び上級外国語Ⅰ・Ⅱは、当該外国語Ⅰ～Ⅳの4単位を修得している学生が履修できる。
- (11)外国語特殊講義は、当該外国語Ⅰ～Ⅳの4単位と、当該外国語の中級外国語Ⅰ・Ⅱ、言語文化特殊講義Ⅰ・Ⅱ又は上級外国語Ⅰ・Ⅱから2単位を修得している学生が履修できる。
- (12)一般教養科目は、4単位以上修得しなければならない。

(13)スポーツ・健康科目の実習科目は、8単位まで修得することができる。

(14)キャリアデザイン科目は、1単位以上修得しなければならない。

(15)大学生活とキャリアは、必ず履修するものとする。

(16)データサイエンス概論は、必ず履修するものとする。

(2) 現代経済学科授業科目

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得	
			必修	選択			
主専攻科目	A群	経済分析入門Ⅰ		2	1・2・3・4	10単位以上修得しなければならない。	主専攻科目から合計78単位以上修得しなければならない。
		経済分析入門Ⅱ		2	1・2・3・4		
		ミクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		ミクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		マクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		マクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		数理経済学Ⅰ		2	3・4		
		数理経済学Ⅱ		2	3・4		
		計量経済学Ⅰ		2	3・4		
		計量経済学Ⅱ		2	3・4		
		ゲームと情報の経済学Ⅰ		2	3・4		
	ゲームと情報の経済学Ⅱ		2	3・4			
	B群	金融論Ⅰ		2	2・3・4	14単位以上修得しなければならない。	
		金融論Ⅱ		2	2・3・4		
		国際経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		国際経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		日本経済論Ⅰ		2	2・3・4		
		日本経済論Ⅱ		2	2・3・4		
		経済史Ⅰ		2	2・3・4		
経済史Ⅱ			2	2・3・4			
経済学史Ⅰ		2	2・3・4				
経済学史Ⅱ		2	2・3・4				
経済政策Ⅰ		2	2・3・4				

	経済政策Ⅱ	2	2・3・4	
	現代経済特講	2	2・3・4	
C群	応用ミクロ経済学	2	3・4	14単位以上修得しなければならない。 い。
	応用マクロ経済学	2	3・4	
	産業経済学Ⅰ	2	3・4	
	産業経済学Ⅱ	2	3・4	
	公共経済学Ⅰ	2	3・4	
	公共経済学Ⅱ	2	3・4	
	財政学Ⅰ	2	3・4	
	財政学Ⅱ	2	3・4	
	地域経済論Ⅰ	2	3・4	
	地域経済論Ⅱ	2	3・4	
	労働経済学Ⅰ	2	3・4	
	労働経済学Ⅱ	2	3・4	
	環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	環境経済学Ⅱ	2	3・4	
	ファイナンス論Ⅰ	2	3・4	
	ファイナンス論Ⅱ	2	3・4	
	金融特論	2	3・4	
	国際経済学特論	2	3・4	
D群	初年次ゼミナール	2	1・2・3・4	(1)ゼミナールⅠの 単位を修得してい なければ、原則と してゼミナールⅡ の履修はできな い。 (2)ゼミナールⅠ・ Ⅱの単位を修得し ていなければ、ゼ ミナールⅢ・Ⅳの
	プレゼミナール	2	2・3・4	
	ゼミナールⅠ	2	3・4	
	ゼミナールⅡ	2	3・4	
	ゼミナールⅢ	2	4	
	ゼミナールⅣ	2	4	
	卒業論文	4	4	
	経済科学特別演習Ⅰ	2	4	
	経済科学特別演習Ⅱ	2	4	

					<p>履修はできない。</p> <p>(3)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。</p> <p>(4)卒業論文を除いた科目から4単位以上修得しなければならない</p> <p>(5)ゼミナールⅠ・Ⅱ又は経済科学特別演習Ⅰ・Ⅱのいずれかを履修しなければならない</p> <p>(6)卒業時に指導教員の指示に従い「卒業研究」を提出して学士力を認定されなければならない</p> <p>(7)卒業研究とは卒業論文、ゼミナールⅢ・Ⅳ担当教員が指示するところの卒業課題又は経済科学特別演習Ⅰ・Ⅱ担当教員が指示するところの</p>
--	--	--	--	--	--

					代替課題とする
E群	外国書講読	2	3・4		
	特殊講義a	2	2・3・4		
	特殊講義b	2	3・4		
F群	確率・統計入門	2	1・2・3・4	確率・統計入門、	
	経済数学入門Ⅰ	2	1・2・3・4	経済数学入門Ⅰ、	
	経済数学入門Ⅱ	2	1・2・3・4	経済数学入門Ⅱは	
	経済統計学Ⅰ	2	2・3・4	原則として1年次	
	経済統計学Ⅱ	2	2・3・4	に履修するものと	
				する。	
G群	憲法Ⅰ	2	1・2・3・4		
	憲法Ⅱ	2	1・2・3・4		
	経済法	2	2・3・4		
H群	システム科学入門Ⅰ	2	1・2・3・4		
	システム科学入門Ⅱ	2	1・2・3・4		
	情報科学入門Ⅰ	2	1・2・3・4		
	情報科学入門Ⅱ	2	1・2・3・4		
	経営システム科学Ⅰ	2	2・3・4		
	経営システム科学Ⅱ	2	2・3・4		
	情報ネットワーク概論Ⅰ	2	3・4		
	情報ネットワーク概論Ⅱ	2	3・4		
	情報社会概論Ⅰ	2	2・3・4		
	情報社会概論Ⅱ	2	2・3・4		
	プロジェクトマネジメント 論Ⅰ	2	3・4		
	プロジェクトマネジメント 論Ⅱ	2	3・4		
	シミュレーション論Ⅰ	2	3・4		
	シミュレーション論Ⅱ	2	3・4		
	応用情報論Ⅰ	2	3・4		

		応用情報論Ⅱ	2	3・4	
		ソフトウェアⅠ	2	2・3・4	
		ソフトウェアⅡ	2	2・3・4	
		システム設計	2	3・4	
		システム監査論	2	3・4	
I群		ビジネス英語リーディングⅠ	2	2・3・4	I群の英語科目のうち、Ⅰ・Ⅱの科目はレベル2の科目とし、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修できる。Ⅲ・Ⅳの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。
		ビジネス英語リーディングⅡ	2	2・3・4	
		国際ビジネスコミュニケーションⅠ	2	2・3・4	
		国際ビジネスコミュニケーションⅡ	2	2・3・4	
		国際ビジネスコミュニケーションⅢ	2	3・4	
		国際ビジネスコミュニケーションⅣ	2	3・4	
		ビジネス中国語Ⅰ	2	2・3・4	
		ビジネス中国語Ⅱ	2	2・3・4	
		ビジネス韓国語Ⅰ	2	2・3・4	
		ビジネス韓国語Ⅱ	2	2・3・4	
		海外研修Ⅰ	1	1・2・3・4	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	
		海外研修Ⅲ	3	1・2・3・4	
		海外研修Ⅳ	4	1・2・3・4	
		海外研修Ⅴ	5	1・2・3・4	

(3) 経済情報学科授業科目

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得	
			必修	選択			
主専	A群	経済分析入門Ⅰ		2	1・2・3・4	10単位以上修得し	主専

攻科目	経済分析入門Ⅱ	2	1・2・3・4	なければならな	攻科目から合計78単位以上修得しなければならな
	ミクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4	い。	
	ミクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4		
	マクロ経済学Ⅰ	2	2・3・4		
	マクロ経済学Ⅱ	2	2・3・4		
	数理経済学Ⅰ	2	3・4		
	数理経済学Ⅱ	2	3・4		
	計量経済学Ⅰ	2	3・4		
	計量経済学Ⅱ	2	3・4		
	ゲームと情報の経済学Ⅰ	2	3・4		
ゲームと情報の経済学Ⅱ	2	3・4			
B群	システム科学入門Ⅰ	2	1・2・3・4	14単位以上修得し	い。
	システム科学入門Ⅱ	2	1・2・3・4	なければならな	
	経営システム科学Ⅰ	2	2・3・4	い。	
	経営システム科学Ⅱ	2	2・3・4		
	数理統計学Ⅰ	2	2・3・4		
	数理統計学Ⅱ	2	2・3・4		
	シミュレーション論Ⅰ	2	3・4		
	シミュレーション論Ⅱ	2	3・4		
	社会システム科学Ⅰ	2	3・4		
	社会システム科学Ⅱ	2	3・4		
	プロジェクトマネジメント論Ⅰ	2	3・4		
	プロジェクトマネジメント論Ⅱ	2	3・4		
	応用システム科学Ⅰ	2	3・4		
	応用システム科学Ⅱ	2	3・4		
システム設計	2	3・4			
システム監査論	2	3・4			
C群	情報科学入門Ⅰ	2	1・2・3・4	14単位以上修得し	

	情報科学入門Ⅱ	2	1・2・3・4	なければなら ない。
	基礎プログラミング	2	1・2・3・4	
	情報処理Ⅰ	2	2・3・4	
	情報処理Ⅱ	2	2・3・4	
	情報ネットワーク概論Ⅰ	2	3・4	
	情報ネットワーク概論Ⅱ	2	3・4	
	情報数学Ⅰ	2	2・3・4	
	情報数学Ⅱ	2	2・3・4	
	情報社会概論Ⅰ	2	2・3・4	
	情報社会概論Ⅱ	2	2・3・4	
	応用情報論Ⅰ	2	3・4	
	応用情報論Ⅱ	2	3・4	
	ソフトウェアⅠ	2	2・3・4	
	ソフトウェアⅡ	2	2・3・4	
	コンピュータグラフィック ス	2	3・4	
	人工知能	2	3・4	
D群	ゼミナールⅠ	2	3・4	(1)ゼミナールⅠの 単位を修得してい なければ、原則と してゼミナールⅡ を履修できない。 (2)ゼミナールⅠ・ Ⅱの単位を修得し ていなければ、ゼ ミナールⅢの履修 はできない。 (3)ゼミナールⅢの 単位を修得してい なければ、原則と
	ゼミナールⅡ	2	3・4	
	ゼミナールⅢ	2	4	
	ゼミナールⅣ	2	4	
	卒業論文	4	4	
	経済科学特別演習Ⅰ	2	4	
	経済科学特別演習Ⅱ	2	4	

					<p>してゼミナールⅣの履修はできない。</p> <p>(4)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。</p> <p>(5)卒業論文を除いた科目から4単位以上修得しなければならない</p> <p>(6)ゼミナールⅠ・Ⅱ又は経済科学特別演習Ⅰ・Ⅱのいずれかを履修しなければならない</p> <p>(7)卒業時に指導教員の指示に従い「卒業研究」を提出して学士力を認定されなければならない</p> <p>(8)卒業研究とは卒業論文、ゼミナールⅢ・Ⅳ担当教員が指示するところの卒業課題又は経済科学特別演習</p>
--	--	--	--	--	---

					I・II担当教員が 指示するところの 代替課題とする
E群	マルチメディア演習	2	2・3・4		
	計測・制御演習	2	2・3・4		
	情報システム演習	2	3・4		
	情報通信ネットワーク演習	2	3・4		
	外国書講読	2	3・4		
	特殊講義a	2	2・3・4		
	特殊講義b	2	3・4		
F群	代数学	2	1・2・3・4	6単位以上修得し なければならな い。	
	解析学 I	2	1・2・3・4		
	解析学 II	2	1・2・3・4		
	基礎解析 I	2	1・2・3・4		
	基礎解析 II	2	1・2・3・4		
	経済統計学 I	2	2・3・4		
	経済統計学 II	2	2・3・4		
G群	憲法 I	2	1・2・3・4		
	憲法 II	2	1・2・3・4		
	経済法	2	2・3・4		
H群	金融論 I	2	2・3・4		
	金融論 II	2	2・3・4		
	国際経済学 I	2	2・3・4		
	国際経済学 II	2	2・3・4		
	応用ミクロ経済学	2	3・4		
	応用マクロ経済学	2	3・4		
	産業経済学 I	2	3・4		
	産業経済学 II	2	3・4		
	公共経済学 I	2	3・4		
	公共経済学 II	2	3・4		

	財政学Ⅰ	2	3・4	
	財政学Ⅱ	2	3・4	
	経済政策Ⅰ	2	2・3・4	
	経済政策Ⅱ	2	2・3・4	
	環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	環境経済学Ⅱ	2	3・4	
	地域経済論Ⅰ	2	3・4	
	地域経済論Ⅱ	2	3・4	
	日本経済論Ⅰ	2	2・3・4	
	日本経済論Ⅱ	2	2・3・4	
	労働経済学Ⅰ	2	3・4	
	労働経済学Ⅱ	2	3・4	
I群	ビジネス英語リーディングⅠ	2	2・3・4	I群の英語科目のうち、Ⅰ・Ⅱの科目はレベル2の科目とし、レベル2・レベル3・レベル4の学生が履修できる。Ⅲ・Ⅳの科目はレベル3の科目とし、レベル3・レベル4の学生が履修できる。
	ビジネス英語リーディングⅡ	2	2・3・4	
	国際ビジネスコミュニケーションⅠ	2	2・3・4	
	国際ビジネスコミュニケーションⅡ	2	2・3・4	
	国際ビジネスコミュニケーションⅢ	2	3・4	
	国際ビジネスコミュニケーションⅣ	2	3・4	
	ビジネス中国語Ⅰ	2	2・3・4	
	ビジネス中国語Ⅱ	2	2・3・4	
	ビジネス韓国語Ⅰ	2	2・3・4	
	ビジネス韓国語Ⅱ	2	2・3・4	
	海外研修Ⅰ	1	1・2・3・4	
	海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	

	海外研修Ⅲ	3	1・2・3・4	
	海外研修Ⅳ	4	1・2・3・4	
	海外研修Ⅴ	5	1・2・3・4	